

銀色の道

学志舎劇場 ～主役は君だ～

学志舎 塾長 山田勝登



Vol. 14 のトピックス

- ◇ イベント 2010 年4～10 月.
- ◇ イベント考
- ◇ 新年会のお知らせ
- ◇ 編集後記

こんにちは。久しぶりの「銀道」です。

さて、只今受験生は、ゴールを目指して最後の直線を走っているところです。その他の生徒は、冬プロの勉強に頑張っているところですね。今回、年内にこれを書き終えることが出来るでしょうか？

夏場から生徒にコーチングをしながら聞いています。「何のために勉強をしているの？」いろんな答えが返ってきます。一番多いのが「将来のため」「自分のため」

よい学校に進学して、よいところに就職する。

ちなみに「よい学校とは？」との問いには、具体的な名前を挙げる生徒もいれば、おおむね難しい学校と答える生徒が多いです。よい会社となると、まだまだ漠然としているようです。

これはこれでよいでしょう。それなりの答えかと思います。

2010 年、過去 14 年試行錯誤しながら塾運営をしてきた私の考えが、最終型になりました。そのことは 3 月の新年度説明会にお話したとおりです。生徒の皆さんにも全員に話をしました。

テーマは「学志舎劇場 主役は君だ」主役の自分が輝くためには、周りの人たちが輝かなくてはならない。

時間がたつにつれ、その思いはどんどん確信に満ちたものになりました。

そして今、ホームページをリニューアル中なのですが、一面の私の写真の横には「智をつけよ。」

そして人のために活かせ！」

と書きます。

本物のエリートとは「人のために自分の能力を活かせる人」のことだと思います。そのためにあなたは今勉強しているんですよ。ひいては最終、自分がピカピカに輝くために。

目先のことのためじゃないですよ！！

さあ、銀色の道、久々の発進です。

★イベント★

今年は例年になく、初めてのイベントをいくつか実施しました。それでは紹介しましょう。写真で振り返る 2010 年のイベント！

4月コーチングワークショップ

まずは、4月29日「父母の会」を名古屋の「ワークショップ」に振り替えました。学志舎からも教師8名、保護者4名が参加。メイントレーナのみえコミュニケーションの峯下コーチの元、コーチングを学びました。50人による、最後のすれ違い承認は圧巻でした。



この塊の中心にいるのが私です。寝そべった私に一人、また一人腰掛け、このような塊になったのです。真ん中のめがねの福林先生の下にいます。



終了後の記念写真。寝そべっているのは誰だ！！（笑）

コーチングのワークショップ、岐阜でも来年は開催したいと思っています。

それでは、参加してくれた明郷中2年 I君のお母さんから感想をいただきましたので紹介しましょう。

教育コーチングのワークショップに参加してきました。

コーチングに対する知的好奇心と、塾長ご夫妻をもっと知りたい好奇心と（こっちの方が先かも？）どんな方が集まるのか出会いへの好奇心・・・ワクワクしながら、ちょっぴりドキドキしながら会場に着きました。迎えてくれたのは、やはり事務長さんと末っ子の崇太君の笑顔でした。

終盤に差し掛かり私の心と体がほぐれ

てきたころ、トレーナーのみねGさんの指示は、握手をしながら眼と眼を見つめ合い「自分の頑張っている事を相手に伝える」事でした。ひとり目、なかなか自分の事を褒める言葉が見つかりません。ふたり目、「ぐっさん」に似たおじさんのその眼に見つめられた時 私は、ぽろぽろっと涙が溢れてきて言葉になりませんでした。

どうして・・・？どうして・・・？

その眼は、慈愛に充ち溢れていて、「あなたのすべてを受け入れてあげるよ」って語っていました。その涙が、自分でも気付かずに自分気づかせてくれました。次つぎに大学生男子など見つめ合い・・・少し顔を赤らめながら考えたこと。言葉ではなく、眼と眼で心を伝えること・・・感じる事だと。

この学生さんたちは、学志舎の先生方でした。みなさん本当に素敵な若者でした。塾生の育ちのために、ここまで投資する塾は他にはないと思います。

感謝！ 感謝！

塾長さん、事務長さん、有難うございます。親として貴重な経験させてもらいました。

「子どもは、育てるのではなく、育っていくもの。」「いいかげんは、良い加減。」

私は、あまり助言もせず、子どもたちに育てゆくことを強要していたのかもしれない。あ～恥ずかしい。

これからは、適切な助言ができる様、温かい眼差しで子どもたちを見守ってゆこうと思います。

このあと、11月3日、12月4日と岩田さんはパパママコーチ、親力向上セミナーにも参加していただきました。

感謝、感謝です。

本当にありがとうございました！

5月てんつくマンの映画鑑賞会。

「天国は作るもの part2」



事前にDVDに予告編を焼いて皆さんに配りました。その予告編を見ていたときでした。…もしかして…本編を見たら言ってしまうんじゃないか？

鑑賞会の後、予想通り恐れていたことが口から出てしまいました。映画に感動して見に来てくれた生徒、保護者の皆さんに

2年以内に

フルマラソン

を走ります！

あ～あ、言ってしまった（笑）



長良川スポーツプラザ研修室にて

2 日間に亘り上映し、約 70 人の生徒、保護者の方が参加してくれました。

参加ありがとうございました！

2011 年も、元気になる映画「天国は作るものパート 1・パート 2」の上映を予定しています。ぜひぜひ見に来て下さい！

6 月教師研修会

未来会館で実施しました。2010 年度第一回目の教師研修会です。コーチングを中心に、教師としてのスキルを身につけます。



議題に関して 2 チームに分かれ話し合う



コーチングのワークをする福林・若山チーフコーチ

この研修会で、学生たちから、カルテの提案がありました。今までは 2～3 ヶ月に一回、まとめて家庭に持ち帰ってもらっていましたが、それではタイムリーでない！毎回持ち帰って、その都度保護者の方に見てもらいたい。そしてできればコメントをもらいたい！

…普通、学生の立場でこんなこといえないと思います。自ら保護者とコンタクトをとろうなんて。

本来なら私と事務長が提案すべきことですよね。

彼らの本気度が伝わってきませんか？コメント、よろしくお願いいたします！

7 月保護者懇談会

今回も出席率は、9 割を超えました。他の塾の先生に話をすると、皆必ず驚かれます。それだけ保護者の皆さんの意識が高いということだと思います。本当にありがたいですね。感謝、感謝！です。

しかし、今までこんな明るい懇談会って記憶にないくらい、みんな笑顔の懇談会でした。

夏から秋に予定している初のイベントの話に、結構盛り上がりましたね。

一番印象に残っているのが、一昨年11月に実施したパパママコーチングに出てくれたお父さんが、それ以来子供にかかわることが多くなり、この夏初めて長男の学校の懇談会に出てくれた、それも仕事を休んで、という報告をいただいたこと。

昨年から塾のイベント、懇談会、説明会等にお父さんが参加してくれることが多くなりました。これは本当にうれしいことです。

お父さんの参加、ぜひぜひお待ちしております！！

育真館2F 高校生の教室完成

育真館の古い建物の2階の物置を改装しました。事務長の好みで、純和風。障子も床の間もそのまま使いました。照明もちょっといいものを使いました。



机と椅子の組み立てに富田高校1年K君



鶯谷高校1年のT君が手伝ってくれました。



二人とも二つ返事で、気持ちよく手伝ってくれて、本当にありがとう！

高校生の夏のフレックスタイムは、この教室が受講生の熱気があふれる場となりましたね。

すでに立命館大学（法）の合格を決めたT君のお兄ちゃん、この教室で英語の「ドラゴン」をガンガンやり、夏休み明けの試験で英語の偏差値がグ〜ンと上がり、友達の間でどんな勉強をしたのか、ちょっとした話題になったと、9月の下旬にお母さんからうれしい報告がありました。

一昨年の秋に教室を改装して以来の、工事でした。

育真館は、13年前に事務所だったところを、事務長と二人だけで教室に改装したところからスタートしました。

マスキングテープを貼り、タバコのヤニで黄色になったクロスに塗料を塗りました。床はカーペットをはがし、割れているところを素人作業で下地処理をして上からカーペットを敷きました。でも、傾いたコンクリート面を水平にするところまでは手が回らず、床は北東の方角に傾いていましたね。

当時は、業者さんに頼むお金がなかったのです。クロスを張り替える10数万すら出せなかった。白の塗料を頭にこぼしたり、ジャージが塗料でべたべたになったり…。私が右足の半月盤を痛めたのは、その作業の途中でやったものです。

10畳一部屋からのスタートでした。今まで通ってくれた生徒のおかげで、1F奥の物置を教室に改装し、一昨年は、真ん中の事務所を教室にして、メインの教室を改装（床は水平になりました、笑）そして今回2F。

いつも思います。お金って、出口が大切だって。

学志舎ではもうおなじみ

五日市剛さん曰く、お金自身が喜ぶ使い方をしていないといけない。

中村文昭さん曰く、お金を使って、どれだけ人が喜んでくれるかが大切。

今回も生徒たちに好評です。お金も、生

徒も喜んでくれたと思います。

宣言します。

次にまとまった資金が出来たら、長良至誠館の1Fを借ります。…実はずっと思っているができてないことなのです。

30坪弱の広さの改装と、空調設備、備品などを考えたら、相当のお金が必要になります。

私の頭の中ではラフプランが出来上がっています。入り口付近に一段高い畳の間を作り、教師と生徒が談笑したり、迎えに来た保護者の方が、くつろげるスペースとしても利用できる…。2Fは自習室として使いたい。

改装費だけでなく、毎月の家賃もかかります。そのためには生徒が増えないことにはなんともなりません。厚かましいお願いですが、皆様のご支援とご協力で、次は至誠館を！

8月夏プロオールナイト学習会

今年もやりました。夜を徹しての勉強会。では挑戦者と内容をを紹介しましょう。



生徒宣誓 伊奈波中3年 I さん



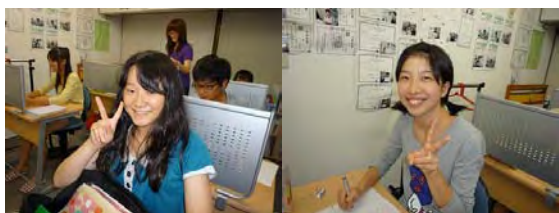
聖マリア中3年 M

長良中3年 S



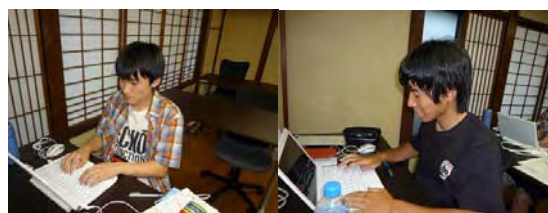
本荘中2年 A

本荘小5年 H



鶯谷中3年 Y

伊奈波中3年 M



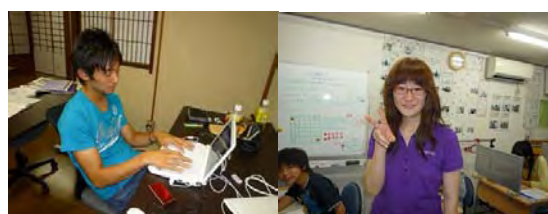
富田高校1年 T

富田高校1年 Y



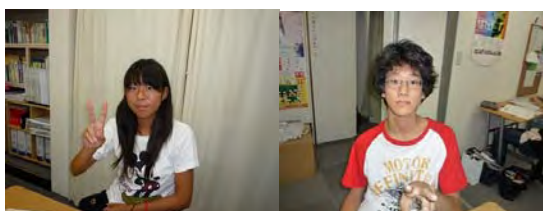
東長良中3年 M

附属中3年 Y



長良高校2年 Y

若山コーチ



長良中3年 Y

伊奈波中3年 S



伊奈波中2年 J

伊奈波中2年 K



中学生は単語・不規則動詞からスタート

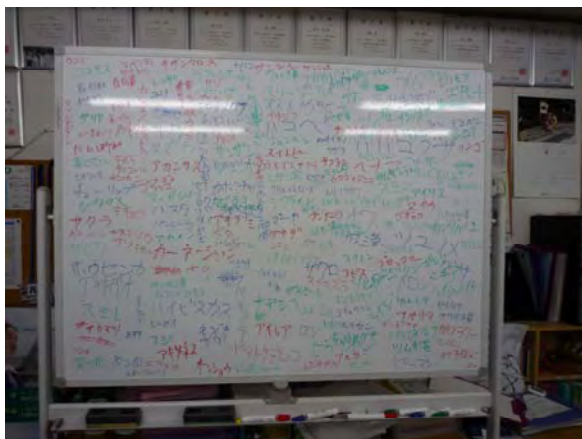


真夜中に眠気覚ましのジョギング



アイスクリーム杯「歴史上の人物編」

教師チームの勝利で誰も食べられない



オロナミンC杯「花の名前編」3 チームが教師チームに

勝利し、塾長財布をポケットにローソンへ走る！？

そして時は進み、6時を迎えた。

史上初の沈没者がいないオールナイト学習会となった。

それでは、挑戦者の中から、長良中3年のYさんの感想をどうぞ！

今日はじめて徹夜をしました。いつもは背が伸びるようにと、睡眠時間を多くとって、徹夜なんて考えたこともなかったです。

ですが、やってみてとても楽しかったです。はじめは絶対に寝てしまうから集中は出来ないだろうと思っていました。

しかし、環境もよいし、休憩も程よくあるので、短時間ずつ集中して取り組むことが出来ました。

夜中にランニングも出来て気分転換になったし、他の学校の友達もできました。

ホワイトボードを使っての対決（ゲーム）の時には、初めて会った仲間でも自分から声をかけて、互いに協力して意見を出し合うことが出来てとても嬉しかったです。

ドラゴンも集中したので、二まわり目に入ることが出来ました。

英語の単語もだいたい頭に入っていて覚えることが出来たと思います。

眠ることなく、集中出来て良かったです。初めてだったけど、オールナイトは最高でした。またやりたいです！

Yさんありがとう！

挑戦者のみんな、ありがとう！

小豆島自給自足体験合宿

6月、事務長と探索に行ってきました。
小豆島の「げんきのたね夢楽」とはどんなところか？

海岸線の道から、林の中を100mほど下に降りていくと、かつてキャンプ場だったところがあった。プライベートビーチがあり、自然と言えば自然。何もないといえど何もない。いいかもしれない…。そして

8月21日岐阜駅を出発、小豆島へ向かいました。



つくやいなや、すぐに海水浴。ベラが群れをなして泳いでいる。足のすぐそばを通り抜ける。水は非常にきれい！



姫路からフェリー



海水浴のあとビーチでくつろぐ
そのあとみんなで夕飯を作ります





「これ何？」初めての赤米ご飯を見て???

各部屋には歓迎プレート（相部屋です）



食事のあとのスタッフによる歓迎ダンス



そのあと「中村文昭さん」のDVD鑑賞をして就寝。私と事務長はデッキでビール。

翌朝です。おはよ〜! 朝礼が終わった後は全員で掃除から Mさん



トイレにはこんな絵が



2日目はゴローさんの「火起こし体験」



みんなで説明を聞く



K君がつけた火をカマドへ、ご飯をたく



炊いたご飯でカレー

午後から海水浴とスライダー



でっかいカキを見つけた Mさん



スライダー Nさん



海水浴のあとは晩御飯に使う夏野菜の収穫のために裏山へ

Aさん カボチャをGET！



今夜はカマドで焼いた手作りピザ、焼きそばなどなど、具はそれぞれがチョイス



そしてビーチでお楽しみの花火



その後…事務長と今夜もデッキでビール

最後の朝です。朝礼のあと掃除。とことん綺麗にしました。その後、最後の海水浴。スライダーで遊ぶ。



海水浴の後、シャワーを浴びて荷物をまとめて、帰り支度。
スタッフの車でバス停まで送ってもらいました。



食堂入り口のメッセージボード



見送りにきてくれたスタッフの方々



あっという間の2泊3日でした。
では梅林中1年のNさんの感想をどうぞ！

私は小豆島へ行ってよかったと思いました。なぜかという普段出来ないいろいろなことが出来たからです。

例えば「火起こし」では木を探すところから始め、道具を作って火をおこしました。道具を作るだけでも結構大変でした。

また、朝から掃除をするなんて初めてのことでした。でもやってみると、学校で強制的にやらされるのと違って、気持ちが良かったです。また、食事も自分達で作りました。ピザも自分で作り、焼いてもらいました。私は小豆島へ行って、火起こしもそうだったけど、一から自分達でやるのは難しい面もありましたが、結構楽しめました。また、友達とたくさん遊べてすごく楽しく過ごせました。

Nさんありがとう！参加者の皆さん、スタッフの皆さんありがとう！また来年！

10月第4回ボーリング大会

今回で第4回のボーリング大会。回を重ねるごとに親子ペアの割合が高くなってきました。

そういえば第1回大会が兄弟ペアで、2回、3回大会の優勝は親子ペアでした。今回の大会も盛り上がりを見せました。もう、あっちこっちでギャーギャーうるさいのなんの（笑）

机の上に山積みを用意していたストライク賞のティシュペーパー&スペア賞のトイレトペーパーがドンドンなくなりましたね！

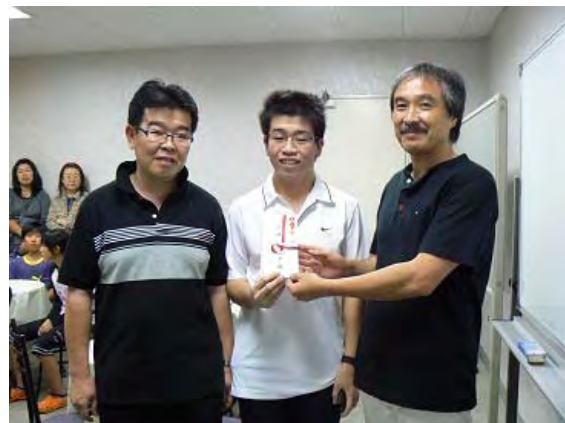
みんな頑張りました。では結果発表です。

BB賞 愛媛ミカンジュース1箱
岐阜工業高校2年M君&お父さん



10位は同点で2ペアが入りました。

10位 山仙ぶどう園葡萄3キロ
岐阜第一高校1年T君&お父さん



10位 長良中2年K君&お父さん



7位 米千代さんのお米券
本荘小6年Hさん&お母さん



3位 鳥辰さんのお食事券

本荘中2年 Aさん&お父さん



2位 山田農園ミカン 15 キロ

岐阜小4年 A君&お父さん



そして栄えある優勝は、厚いハンデに守られて？いやいや日ごろ鍛えたその腕でもぎ取りました。

なんと K ファミリーがワンツーフィニッシュ！

優勝 学志舎大阪US Jバス旅行ペア券

岐阜小1年 Mさん&お母さん



今回の入賞はすべて親子ペアでした。おまけに上位は2家族独占というおまけつき。

来年はどんな大会になるのでしょうか？年々参加ペアが増えてきています。この勢いでは参加30ペアを超えそうですね。では、では来年9月、第5回大会で！

学志舎ではボーリング大会で生徒の親さんの経営しているお店、農産物などを賞品として扱わせていただいております。

自営でなくとも、宣伝及び、なにか売り上げに貢献できることがありましたら、ぜひご連絡ください。

こんなご時勢です。ボーリング大会に限らず普段でも、微力でも協力できることがあれば…いいんですが。

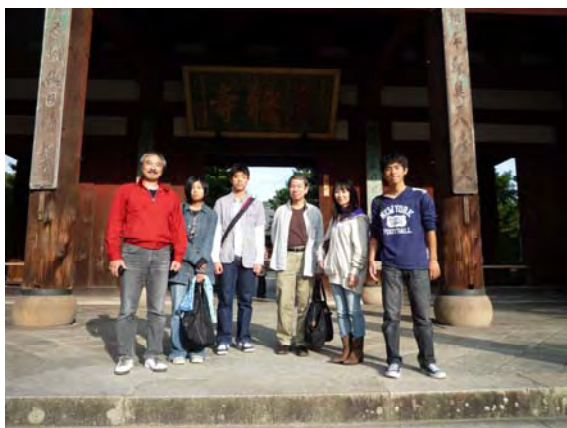
塾生証を持っていけば、なにかしらサービスがあるとか、そんなのもいいですかね。

お申し出をお待ちしております！

座禅合宿

8月28日(土)、残暑が厳しい日でした。京都駅から南へ25分、私は宇治市にあるJR 黄檗駅に降り立ちました。座禅合宿を実施すべく、下見と、担当の方と打ち合わせをするためです。流れる汗を拭きながら萬福寺へ歩いたのが、つい先日のことのように思い出されます。

それから約2ヶ月後の10月24日(土)、秋風に吹かれ、私は4人の参加者&事務長と再び萬福寺の三門前に立ちました。



写真左より

山田勝登
岐阜高校3年 K
岐山高校2年 Y
Y君のお父さん
山田公子
富田高校1年 Y

これからどんな合宿がはじめるのか、ワクワクしながらのスナップです！

3時半から今回の研修の説明を受け、作務衣に着替えました。今回我々を担当してくれた加藤さん、8月の打ち合わせのときから、ちっとも笑わないのです。ホントにこの人、笑ったことがあるンかいな？と思っていました。

5時から薬石(夕食)

大きめのガンモ、蒟蒻二切れ、白菜のおひたし、沢庵二切れにお味噌汁。

だいたい予想通りの夕食だが、米粒一つ残してはならない。おひつもしかり、キレイに残さず、おかずも同様。

6時から荒木和尚の法話。



高校生に焦点を当てた話をさせていただきました。聞いていると内容は・・・学志舎の理念そのもの。「うんうん、普段私が生徒に言っていることだぞ！」とうれしくなりました。

話の内容から推測するに、この和尚、どうやら PL 学園の野球部で清原、桑田の1年先輩だったようです。

7時よりいよいよ座禅。

真っ暗な中、禅堂に向かう。廊下など、必

ず端を歩くように注意されていたにもかかわらず、Kさんの後ろを、ボーッとして真ん中を歩いていると、加藤さんから「端を歩いてください！」

真っ暗な禅堂に入り、加藤さんから注意事項を聴きました。



これが、肩をビシッとやる「警策」です。



TV でコックリコックリ舟をこいでいるとビシバシッとやられますが、あれはちょい

と違いますね。まず、ウトウトすることはないと思います。

いよいよ座禅の本番です。

木魚が一回「ポク」、座禅の準備に入る。

ポジションを決め、足を組む。

両足組めなければ、片足だけでも良い。

電灯が消され、ろうそく一本の灯り。

「ポクポク」いよいよ本番。

視線を斜め下に落として、瞑想？

30分で、「チーンチーン」

第一回目の座禅終了。

足は両方組まなくてよく、結構楽なんです。おまけにお尻の下に、二つ折りにした座布団を敷いている。ビシッとやられるのは、TVの中で面白おかしくやっているだけです。他宗派分かりませんが、黄檗宗では、研修の座禅は、集中して短時間らしいです。但し、修行僧の座禅は素人とはわけが違い相当厳しいようです。

境内では手を前に組んで歩かなくては いけません。



また黄檗流では履物は横付け式。



座禅のあと、順番にお風呂にはいり、9時消灯。一杯飲まなきゃ9時になんか寝れんぞ！と思いきや案外即寝行ってしまった・・・が、予想通りの大イビキ。みなさんホントに

ゴメンナサイ！

翌朝は5時起床。5時半から2回目の坐禅…の予定、だが、朝一発目の座禅担当の北さんが来ない???

6時前になり、やっと隣の寺務所の明かりがつく。北さん悪びれもせず、「おはようございます！」(笑)

まだ夜が明けきらない、うす暗い回廊を歩き、禅堂へ。再びろうそく一本の中での座禅。私は「何のために座禅に来たのだろうだろう」と自問していました。

その考えはすぐに頭の中から消え去り、何も考えない状態が続く。

どのくらいいたただろうか、私の正面のY君が少し動く。北さんが警策を持って彼の前へ。



「あ〜、ついにいただくのか？」
ビシッ、バシッと両肩3回ずつ。
そして隣のKさんのところへ移動。
「ビシッ、ビシッ、ビシッ、バシッ、バシッ、バシッ」「??？」
研修なので、どうも全員いただくようになっていたようです。

その後部屋に帰り作務（掃除）。



部屋を綺麗に掃除をしてから、朝ごはん。ん〜、お粥に梅干、たくあん2切れ、昆布少々。

ダイエットにはよいかもしれません…？



おかゆの桶も一粒残さず、キレイに箸でつまんだはずでした。加藤さん、おたまの裏をチェック。「しまった、半粒ついている。」加藤さんは私のほうをチラッ見て、その半粒を指でつまんでペロッと食べたのです。

あ～また失敗。

おまけにお茶は、前に座っている人に先についてあげなくてはならないのに、うっかり忘れて、自分の分を先についてしまいました。あ～またまた失敗。

朝ごはんのあと小休止、そして最後の坐禅。

「ポク」、ポジションを決め、座禅を組む。

「ポクポク」座禅開始。今回は45分間で、途中で「チーン」が一回で小休止。

そして「チーン、チーン」で坐禅は終了しました。最後の座禅は思いのほかピンと張り詰めた空気でもなく、結構和んだ空気の中で組んだような気がしました。

そして9時から作務。

境内の一つのエリアの松の葉を集めるのです。

なんとこれが一番こたえましたね。ほうきで掃いてるうちは良かったのですが、松葉を手で拾うだんになると腰をかめたまの作業が辛いなんの。

Y君のお父さんと二人で「腰が…腰が…」と。1時間の作務の時間がえらく長く感じました。

そして最後に荒木和尚から一人ひとり履修書をもらいました。



最後に加藤さんが少し話をされて、みんなで本堂をお参り。「これで全部終わりました。ありがとうございました。」と最後までポーカーフェイスの加藤さん。

そんな加藤さんに私は言いました。
「こちらこそお世話になりました。」

そしてニコッと笑って

「来年もよろしくお願いします」

「？」

「うちの塾の年間行事にしますので！」

事情が飲み込めた加藤さん、少しはにかんだように私を見て、初めてうれしそうにニコッと笑ってくれたのでした。

と言うわけで、毎年秋の行事に座禅研修を組むことに決定しました。

さて、お約束の感想です。

まずは K さんから。

一泊という長いようで短い研修でした。が、とても充実したものでした。今回の研修で、普段の生活で自分がいかに贅沢をしているかということ、実感しました。

そして、ゆっくり自分と向き合うことも出来ました。法話を聞いていて、自分のことを見透かされている気がして、内心ドキッとしましたが、同時に励ましてくださっているんだと思い、少し心が軽くなりました。来年も是非参加したいと思っています。他の人へ、一度は体験してみるべきだと思います！（来年は是非写経も！！）

Kさんありがとう。ご意見ありがたく頂戴して、来年は写経を入れたフルコースで組みます！

続いて、帰り道「来年は嫌がらなければ娘

と来たいですね！」と言ってくれた Y 君のお父さんから感想をいただきました。

息子と共に座禅研修。あまり体験することが出来ないとの思いで参加することになりました。普段の生活から離れ修行僧の気分とは言いませんがそれに近い気持ちで臨みました。決められたプログラム通り行事が進むので時間経過が早く感じました。

座禅をする前に和尚様からお説教を受けました。

- ① 全ての事柄に感謝の気持ちを
- ② 自分で限界を決めるな 等です。

座禅をしながら自分はどれだけ感謝の気持ちで接していたかを振り返っていました。と同時に自分がどれだけ自然体で感謝の気持ちを抱くことが出来るのかを自己問答していました。苦しんでいる自分が、感謝の気持ちになれるのか？痛みに耐えている時に感謝の気持ちが抱けるのか？多分その時々では感謝の気持ちにはなれないでしょう。そこで2つ目の内容です。自分で限界を決めるなということに繋がります。感謝の気持ちになれないと決めつけては前に進まないということです。このループが頭の中でゆっくりと循環し座禅の時間が終わりました。座禅研修で体験した座禅は特別な環境でするものではなくないものと考えます。自分がいかなる時も、どれだけ心の余裕が持てるのでしょうか？心のどこかで感謝の気持ちを絶えず忘れない自分を目指し、言い聞かせ今後の生活に役立てたいと考えました。姿、形にとらわれる事無く座禅をしていた時の気持ちを常に心に抱き、過ごしていく事の大切さを感じました。

思いを確かなものにする。確固たる信念

を心に抱き鼓動を自分で感じ絶えずフィードバックする。最終は、今生きている自分に感謝するところに行き着くと考えます。命を授かった自分は容易くその生命を自ら断つことなどあってはならないのです。感謝の気持ちを忘れず人生を全うしてはじめて報われると思いました。そんな思いを胸に抱き仕事に従事しますと、何かが苦手、嫌だなんて考える事自体が甘えだ！と思いました。

座禅研修は一つのきっかけです。体験した人にしか分からない事です。痛みは自分で感じることで初めてわかりますね。話を聞くことよりも体験することがどれ程重要かと実感しました。

この様な機会を設定して下さい学志舎の塾長に感謝いたします。有難う御座いました。

Mさん、感想をいただきまして、本当にありがとうございました。とてもうれしかったです。単身赴任で、いつもなら土日は自宅でくつろぐところを、座禅合宿に参加していただいたこと、本当にありがたいと思います。重ねて感謝申し上げます。来年もぜひ一緒に行きましょう！

お父さんが参加してくれるということは、本当にうれしいことです。年を追うごとに、新年度説明会を含め、何かのイベント事に参加してくれるお父さんが増えてきました。私は切に、オヤジの参加をお待ちしております！(笑)

イベント考

朝一番の座禅で、私は「なんで座禅に来たんだろう。何のためにやってるんだろう」と自問自答しました。しかし、その思考はすぐに頭の中から消えて、何も考えない時間が過ぎ、忘れていました。京都から帰りの電車でウトウトしていました。乗り換えの野洲で、目が覚めました。そのときに、その答えが頭の中に突然フツと浮かんだのです。

昨年度、東京工大に進学したH君が、2年の夏に「中村文昭氏」のDVDを見たあとに変身し、それに驚いたお母さんの手記を皆さんに読んでもらいました。

私はそんな何かを感じて一発で変わるきっかけを、イベントに求めていたようです。しかし、私の考えは甘かったと思いました。人は普段5%の顕在意識の中で生活しています。残りの95%は意識されません。これを潜在意識といいます。要するに普段は5%の脳みそで生活をしているわけです。

例えば、スーパーに買い物に行くのに、3つ目の信号を右に曲がって、そこから4つ目の筋を左に…なんて考えて運転していませんよね。潜在意識の中にあるからです。

H君が変わったのは、中村さんのDVD一発ではないと思ったのです。95%の潜在意識の中に、今まで自分でいろんなこと

を、またお父さんお母さんが様々なことを詰め込んであげてきたのだと思います。その蓄積したものが、果実が熟すがごとく機を得た、たまたま中村さんの DVD 鑑賞で化学変化を起こし発火したのだと思いました。だからその潜在意識に蓄積したものがなければ、いくら機会を与えても、何も点火しない。詰め込む作業と、点火の作業をするべく多くのイベントを実施しよう。

来年度は毎月なんらかのイベントを実施します。それも生徒だけでなく、親さん向けのものも！

実は保護者懇談会で、前述のようなことを話すと、お母さん方から早速意見をいただきました。

音楽を聴く機会を設けて欲しい…「クラシックですよ。管弦楽団は値段も結構するんですか?」「いえいえ、そんなのでなくても、例えば岐阜大学とか薬大なら、無料でコンサートをやってますから、そんなお知らせでもいいと思います」

美術鑑賞する機会を。有名な絵を見て、それが教科書に出ていると、また興味がわくかもしれない…などのお知恵をいただきました。

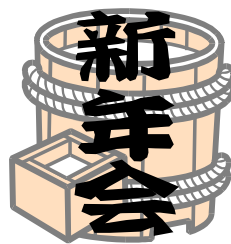
さて、ここでイベントです。11月3日と12月4日に「パップママコーチング研修会」を行いました。2回目のあと、帰りにお母さん方の中で、保護者で食事会・飲み会など集まって、話せる機会を作って欲しいと話が出たそうです。

いと話が出たそうです。

一昨年、名古屋であった勉強会の後の2次会でのことです。徳島のド田舎で280名の生徒が通うMという塾のM先生から、塾のことを抜きにして、生徒の親さんと忘年会をしている（M先生は私より少し年配の女性で、親さんと、飲んで歌って踊ります。笑）と聞いたのです。以来、何か、やりたいと思っていました。

今回渡りに船とばかり、懇談会の席で、コーチングのこと、普段のガス抜き?何でもいいので、忘年会か新年会をやります!と私は言いました。

さて実行です。



のお知らせです

日時 2月5日(土) 18:30～

場所 駅前 or 柳ヶ瀬付近の居酒屋

参加費 3500円程度

これは学志舎ではなく、山田個人が主催します。私も事務長も、皆さんと同じ、子育てに奮闘している一人の親として参加します。ですからその場では、塾長・事務長と呼ばないようにお願いします。「山田」もしくはコーチネームの「案山子」・「つく

編集後記

冬プロが始まって書き始めたこの14号、やっと終わりに近づいてきました。

「書かなくては、書かなくては」と脅迫概念にとらわれながらも遅々として筆が進まず…やっとかさ、ここまでのどり着きました。

次号で詳しく書きますが、11月の三重大学での「あこがれ先生プロジェクト」の講演会で改めて「心」の大切さを痛感しました。そして私が目指す方向が正しいことを確信しました。

成績もそうですが、目に見える事象は冰山のように小さなもので、それを支える海中の见えない大きな部分があるとの15年で感じています。ですからさらにその部分にスポットを当てなくてはならないと思っています。

本年9月16日で、学志舎は15周年を迎えます。

キャンペーンを実施します。特別受講料とこの期間だけの紹介制度です。

①フレンドシップキャンペーン

②親孝行キャンペーン

単純に①が保護者、②が生徒で内容は同じです。

で、内容は？

2月以降、来年の3月末まで14ヶ月間の入塾者と紹介者にこのキャンペーンを適用します。

それでは明日からHP作成と新聞チラシにとりかかります！

では次回（2月初旬予定）まで。